平成27年度 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」生徒感想文

問い合わせ　学校教育課　☎38-2087

地域に学ぶ中学生体験活動週間「トライやる・ウィーク」は、市立３中学校が終了し、11月９日から県立芦屋国際中等教育学校が実施予定です。
市内99もの事業所のご協力を得て実施することができました。生徒たちは、ふれあったかたがたからの何気ない一言から学び、元気づけられ、成長の糧とすることができました。
指導いただいた事業所や応援いただいた地域のかたがた、本当にありがとうございました。

新たにトライやる・ウィークの受け入れをお考えの事業主のかたがおられましたら、上記までお知らせください。

稲坂莫大小製造株式会社での活動

私の「トライやる・ウィーク」は、とても充実していて、その中ではつらいこともありましたが、社会での生き方・ルールなどを学ぶことができた１週間でした。私が１番印象に残っていることは、２日目の活動で失敗をしてしまった時に、指導者のかたが「かまへん、かまへん。」とおっしゃってフォローをしてくださったことでした。そのことも含めて、私が学んだことは全部で４つあります。１つ目は、「誰かが失敗してしまったらフォローする」です。２つ目は、「コミュニケーションも大切だが、アイコンタクトも大切」ということ、３つ目は、「あせらず、１つ１つ丁寧に」です。４つ目は、「仕事場の人との絆・信頼関係を深める」ということです。

特に「信頼」というのは、今の学校生活でも必要であり、信頼できる人となれるよう日々の生活でももっと意識していきたいなと思いました。

そうなるためには、普段の授業態度・忘れ物・服装（風紀）などを意識していきたいと思います。

精道中学校　郷間　菜津美

市立芦屋病院での活動

トライやる・ウィークの１週間で心に残ったことが２つあります。１つ目は、自分にできることは積極的にやっていこうと決め、病院の先生がたや患者さんにあいさつをすることです。環境が変わって、あいさつすることすら緊張してしまうことがありましたが、そんな中で私があいさつをしていると、「頑張ってね。」と応援の声もかけてくださいました。私にとってその一言は、心強くさせてくれる魔法の言葉でした。２つ目は、病院内の仕事場をまわって、病院内の全ての仕事が、病院を支えているんだと知ることができたことです。患者さんの安心と安全を心がけて、明るく元気に過ごせるよう、支えているんだとあらためて知り、働くかたがたもとても格好よく見えました。このように人の幸せのために、安心と安全のために、汗を流して一生懸命に働いているかたちばかりの仕事場で貴重な経験をすることができ、私も将来、人の役に立ち、自分の仕事に誇りをもって働けるようになりたいです。

精道中学校　御立　夏希

伊勢幼稚園での活動

活動初日から小さい子に「先生」と呼んでもらえたことが、とても新鮮で嬉しかったです。また、園児ができないことを全て手伝ってあげるのではなくて、小さい子ができることを増やすために、手伝わずに見守ることも大切だと知りました。ケンカをしても、お互いが「ごめんね。」「いいよ。」と言って仲直りしていたり、緊張するけど手を挙げて、みんなの前で一人で歌を歌ってみようと幼くても頑張っている様子に感動しました。

事業所の先生がたも常に気をぬかないで、園児のことを思って考えて行動されていたのがすごいなぁと思いました。

私が活動する中で一番気をつけて大事にしていたのは、毎回の掃除です。朝と終わりの掃除だけでもみんなで協力して、毎日丁寧にやることを心がけました。私が心に残った場面は、年長さんのうさぎ小屋の掃除当番で作業をしていた時、「私も手伝うね。」と言って嫌がりもせず真剣に取り組む園児の姿を見たことです。その姿を見て、私達のいけない態度や行動は直さなければいけないと感じました。

潮見中学校　藤本　くるみ

芦屋アラベラの家での活動

認知症のかたと過ごす中では、私のことを忘れたり、同じ話を繰り返しすることがあり、少しさみしく感じましたが、施設の職員さんは、一毎日自己紹介する人もいるのよ。その人にとっては、一瞬一瞬が“今なんだよ。だから分かってあげてね。”と言っておられました。それを聞いて、私の要求を利用者さんに押し付けるのではなく、利用者さん自身を受け入れること、利用者さんの考えや話を受け止め、認めることが大切なんだと思いました。

また、しゃべることが難しいかたと関わることが、普段の生活の中ではあまりないので、初めは戸惑いましたが、笑いながら接すると同じように笑ってくれたり、じっと見つめてくれたりと、私に対して反応してくれたのがとても嬉しかったです。

この５日間を通して、相手を思いやる気持ちの大切さを一番学ぶことができました。まずは自分から相手に向き合い、その人を好きになる。私はこれができないので、トライやる・ウィークを通して学んだことをいかしながら、できるようにしていきたいです。

山手中学校　浅田　さくら

市教育委員会生涯学習課文化財係での活動

トライやる・ウィークでは、そこでしかできない体験をしました。その中で、心の中に残ったことが４つあります。１つは、文化財パトロールをしていた時いつもの風景の中に文化財がいくつもあったことです。２つ目は、土器洗浄の時、指導ボランティアのかたが土器を見極めることを「千年前との会話」と例えていたことです。３つ目は、拓本という、線や模様が見えたことです。４つ目は、会下山遺跡に登った時、約２００ｍの高さに位置するムラの祭場から見た、大阪まで見えた景色です。

また、芦屋の良さについて、文化財係に入らないとわからない事がいくつもありました。芦屋には多数の遺跡があり、土器も数え切れないほど出土しています。中でも、漢式三翼鏃は国内でも数例しか見つかっていない貴重なものということです。他にも有名なアメリカ人建築家フランク・ロイド・ライトが設計した旧山邑家住宅や芦屋警察署の石造りの入口が文化財だと初めて知りました。

僕がトライやる・ウィークを通して、一番強く感じたことは、自分の街の良さです。普段気にもしない所に良さはありました。その良さがいっぱいあるこの芦屋をどう守るか考えていくべきだと思いました。

潮見中学校　赤塚　星郎

保育事業ドリーミンでの活動

私がこの期間を通して、考え方が今までと変わったことが２つあります。１つは、「あいさつ」です。今まで「あいさつ」は怒られるからするということが多く、事業所のかたに「なんであいさつをしなければいけないの。」と聞かれましたが答えることができませんでした。事業所のかたが、「あいさつとは、自分の調子を示したり、自分の存在を表すもの、または相手の存在を気付いていることなどを表していて、言う速さや大きさで相手からの印象が変わったりするものだ。」と教えてくれました。私はこの話を聞いて、一回一回しっかりと気持ちを込めてあいさつをしていかなければならないと思いました。２つ目は、机を掃除したり、書類を整理する雑用についてです。どんなに小さな雑用をしてもだれかが楽になったり喜んでくれると思うと、雑用はとてもすばらしいものなんだと実感しました。部活でもたまに雑用をしたりしますが、その雑用をめんどくさいと思わずに進んでやっていけるようにしたいと思います。

山手中学校　伊藤　芹華

美術博物館の催し

問い合わせ　美術博物館　☎38-5432

●シリーズ講座<全４回>　第２回「浮世絵恋物語」
■日時　９月６日(日)午後２時～　■会場　講義室、展示室　■内容　「浮世絵恋物語」展の出品作品について各セクションに分けて解説を行います。　■定員　60人　■講師　当館学芸員　■参加費　要観覧料

●講演会「上方浮世絵の世界」
■日時　９月12日(土)午後２時～　■会場　講義室　■内容　上方浮世絵の歴史と特徴から江戸時代における上方の文化を解説します。　■定員　60人　■講師　あべのハルカス美術館主任研究員・北川博子氏　■参加費　要観覧料

●マリンバデュオとピアノ、歌と言葉で紡ぐコンサート「いにしえの恋物語に魅せられて」
■日時　９月20日(日)午後２時～３時30分　■会場　エントランスホール　■参加費　要観覧料

●日本美術史講座<全４回>第１回「古代篇～自然崇拝から仏教伝来まで」
■日時　９月22日(火・祝)午後２時～　■会場　講義室　■内容　日本美術の歴史を古代から近代に至るまでご紹介する講座。第１回は飛鳥から天平文化に至るまでの仏教美術などを通覧し、日本古代の文化がもつ魅力に迫ります。　■定員　30人　■講師　当館学芸員　■参加費　要観覧料

●ワークショップ「木版画を摺ってみよう」
■日時　10月４日(日)午後２時～　■会場　体験学習室　■定員　30人　■講師　木版画作家・長谷川可奈氏　■参加費　要観覧料　■申し込み　９月25日(金)までに電話で上記へ。定員になり次第締め切り

≪特別展観覧料≫一般1,000(800)円、大高生500(400)円、中学生以下無料※(　)内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちのかたとその介護のかた１人は各当日料金の半額　≪開館時間≫午前10時～午後５時(入館は４時30分まで)
≪９月の休館日≫７日、14日(月)・24日(木)・28日(月)

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ　谷崎潤一郎記念館　☎23-5852

【秋の特別展】大谷崎と挿絵の世界～檜重・松篁・棟方など～
■会期　９月12日～12月６日　■会場　展示室　■内容　小説の挿絵や装丁にとりわけこだわりがあった谷崎潤一郎は、名だたる画家との貴重なコラボレーションを数多く残しています。「蓼喰ふ蟲」の小出楢重、「潤一郎新訳　源氏物語」の上村松篁、「瘋癲老人日記」の棟方志功らの原画のほか、鏑木清方、伊東深水ら当時の美人画の名手が描いた「源氏物語」ポスター原画など、全100点をご覧いただきます。文学と美術が互いに感応しあう豊かな世界をご堪能ください。　■参加費　要観覧料

【市民特別内覧会】大谷崎と挿絵の世界～檜重・松篁・棟方など～
■日時　９月11日(金)午後２時～５時　■会場　展示室　■内容　上記の特別展開催に先駆け、特別内覧会を開きます。学芸員による解説も２回行います。　■対象　芦屋市民のかた　■持ち物　住所の記載された健康保険証・運転免許証などの公的書類を必ず一人ずつお持ちください。身分証をお持ちでないかた、市外在住のかたはお連れさまでも入場できません。　■参加費　無料

【ロビーギャラリー展】豊穣の使者　狐～大世晃信写真展～
■会期　９月12日～10月25日　■会場　ロビーギャラリー　■内容　狐は古来、稲荷大神と人間の世界を結ぶ神の使いとして尊ばれてきました。狐のパワーに魅せられたカメラマンが、芦屋神社・打出神社・伏見稲荷眼力社(京都市伏見区)など関西各地の稲荷社で撮影した狐像の写真約20点をお見せします。大世晃信氏は1986年芦屋市生まれ。大阪芸術大学大学院芸術研究科博士課程(前期)を修了したフリーカメラマン。豊穣の秋、狐のもたらす神秘の力に触れてみませんか。　■参加費　要観覧料

≪特別展観覧料≫一般400(320)円、大高生300(240)円、中学生以下無料※(　)内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちのかたとその介護のかた１人は各当日料金の半額　≪開館時間≫午前10時～午後５時(入館は４時30分まで)
≪９月の休館日≫７日～11日、14日(月)、24日(木)、28日(月)

平成27年度 体力つくり強調月間

問い合わせ　スポーツ推進課　☎22-7910

10月３日(土)
【健康ダンベル体操体験会】
■時間　午前10時～11時30分　■会場　市民センター　■内容　歪みのない体づくり、膝・肩・腰痛にＢｅｓｔなダンベル体操で体力アップ　■対象　市民　■申し込み　電話またはファクスで右記へ　■問い合わせ　芦屋ダンベル体操めぐみクラブ・橋本(☎/FAX35-0543)
【キッズサッカースクール】
■時間　午前10時～正午　■会場　川西運動場　■内容　キッズ(U-６・U-８)サッカー教室　■対象　U-６(６歳以下)/U-８(８歳以下)　■申し込み　当日会場へ　■問い合わせ　芦屋市サッカー協会・河野(☎080-1436-1154)

10月４日(日)
【空手道体験】
■時間　午後３時～５時　■会場　青少年センター柔剣道場　■内容　基本練習(固定・移動)・形練習(平安初段～五段)・形演武・組手練習(試合形式)・体験入門　■対象　幼児～一般　■申し込み　当日会場へ　■問い合わせ　芦屋空手協会・高橋(☎/FAX078-854-5212)

10月６日(火)
【ミニトランポリン体操初心者体験会】
■時間　①午後３時30分～４時30分②４時30分～５時30分　■会場　青少年センター大会議室　■内容　音楽に合わせて跳んで走って楽しく体力づくり　■対象　①３歳児～園児②小学生　■申し込み　９月19日(土)までに氏名・年齢・連絡先を明記の上、ファクスで下記へ　■問い合わせ　芦屋ミニトランポリン体操クラブ・奥野(FAX078-412-1126)

10月10日(土)
【バスケをもっと身近に楽しもう！！】
■時間　正午～午後６時　■会場　青少年センター競技場　■内容　バスケットボール体験や試合観戦を通して、小学生期の健康・体力づくり、スポーツを通した仲間づくり等　■対象　市在住の小学生※要保護者同伴　■持ち物　体育館シューズ・運動のできる服装　■申し込み　９月30日(水)までに氏名・学年・学校名・保護者氏名・携帯電話番号を記入の上、件名を「体協フェスタ」とし、Ｅメールで右記へ　■問い合わせ　芦屋市バスケットボール協会・野島(✉bj4@kcc.zaq.ne.jp)

10月11日(日)
【芦屋市ソフトテニス協会「ソフトテニスの日」】
■時間　午前９時～午後５時　■会場　芦屋公園テニスコート　■内容　老若男女が楽しめるソフトテニスの魅力再発見。日ごろの運動不足の解消・健康の増進(原則試合形式)　■対象　協会員・市在住・在学・在勤のソフトテニスの試合をした事があるかた(小学生は高学年対象)　■費用　300円　■申し込み　10月４日(日)までにファクスかＥメールで下記へ　■問い合わせ　芦屋市ソフトテニス協会・森口(FAX078-431-3372/✉ashiya.softtennis.@gmail.com)
【体協フェスタソフトボール大会(芦屋市議会議長杯)】
■時間　午前９時～午後７時　■会場　中央公園野球場　■内容　トーナメントによるソフトボール大会　■対象　市在住・在勤者が60％以上の成人チーム※個人の場合、参加チームへの加入紹介をします　■費用　5,000円(１チーム)　■申し込み　９月１日～15日までに参加申込書をファクスで右記へ　■問い合わせ　芦屋ソフトボール協会・森本(☎090-9989-7221/FAX078-452-2420)

10月12日(月)
【レッツトライ！エンジョイテニス！ for Junior】
■時間　①午前９時30分～10時45分②午前11時～午後０時15分　■会場　芦屋公園テニスコート　■内容　ジュニア対象のテニス教室　■対象　園児(４歳)～中学生　■費用　600円　■申し込み　９月30日(水)までに所定の申込用紙をファクスまたは持参で下記へ　■問い合わせ　芦屋市テニス協会・西森(☎22-3852/FAX22-7634)
【エンドレス学童野球交流体験会】
■時間　午前９時～午後５時　■会場　中央公園野球場　■内容　交流促進・健康・体力づくりのための学童野球体験　■対象　市在住・在学の学童　■申し込み　９月27日(日)までに各コミスクのチームへ　■問い合わせ　芦屋野球協会・西村(☎/FAX32-6516)
【ゴルフワンポイントレッスン会】
■時間　午後１時～午後４時　■会場　芦屋カンツリー倶楽部　■内容　ゴルフインストラクターによるワンポイントレッスン。２人１組で指導時間は１人15分程度。　■対象　市民(成人)・先着24人　■申し込み　９月１日～10月１日までに電話で右記へ　■問い合わせ　芦屋市ゴルフ協会・森下(☎31-0501)

10月13日(火)
【芦屋市長杯Ｇ.Ｇ交流大会】
■時間　正午～４時　■会場　中央公園　■内容　32ホールストロークプレーによる個人戦＊賞品有り(１位～５位・参加賞・ホールインワン賞あり)　■対象　グラウンドゴルフの愛好者の市民・120人　■費用　200円(賞品代)　■申し込み　９月30日(水)までに電話かファクスで下記へ　■問い合わせ　芦屋市グラウンド・ゴルフ協会・久下(☎/FAX31-6206)

10月18日(日)
【秋のファミリースポーツのつどい】
■時間　午前９時45分～11時　■会場　青少年センター競技場　■内容　子どもたち(幼児期)の基礎体力つくりと親子(保護者)体操を通して親子のふれあい、運動・スポーツにたのしく親しむ　■対象　幼児(４～６歳の就学前のこども)と保護者２～３人１組・先着30組　■申し込み　９月30日(水)までに所定の申込用紙をファクスか郵送または持参で右記へ　■問い合わせ　スポーツ推進課(☎22-7910/FAX22-1633/〒659-0072 川西町15-3)
【市民スワローバレーボールの集い】
■時間　正午～午後６時　■会場　青少年センター競技場　■内容　バドミントンコートを使用し、１チーム４人で柔らかいボールを使ったゲーム　■対象　市民(１チーム４人、女性２人以上)　■費用　１チーム500円(小中高生のチームは無料)　■持ち物　体育館シューズ・運動のできる服装　■申し込み　10月３日(土)までに代表者名・住所・電話番号・選手名・年齢を記入の上、ファクスで右記へ　■問い合わせ　芦屋市バレーボール協会・沖(☎/FAX32-8633)

10月24日(土)
【レクスポ2015秋のウォーク＆バスツアー「稲むらの火ウオーキング」】
■時間　午前８時15分～午後６時　■会場　【集合】青少年センター【目的地】和歌山県湯浅・広川町方面　■内容　国に史跡指定されている広村堤防を中心にウオーキングを楽しみます。湯浅の醤油蔵見学で醤油の魅力体験・稲むらの火の館見学。歩く・楽しむ・学ぶを１日で満喫　■対象　先着135人　■費用　一般・4,500円/協会員・4,000円　■申し込み　10月２日(金)までに所定の申込用紙をファクスまたは郵送で右記へ　■問い合わせ　芦屋市レクリエーションスポーツ協会(☎22-7910/FAX22-1633/〒659-0072 川西町15-3)

CATV 広報番組ガイド

芦屋市広報番組　あしや トライ あんぐる	放送時間[15分]
オープニング　山芦屋公園	① 9:00
トピックス　平和の鐘を鳴らそう！	②12:00
	③15:00
特集　５年に一度の大調査 国勢調査にご協力を！～日本の明るい未来のために～	④18:00
	⑤22:30
お知らせ　芦屋市霊園　使用者募集	※ＤＶＤの貸出可
エンディング　芦屋の四季	

■広報番組「あしやトライあんぐる」は、11ch(一部地域を除く)でご覧ください。
※９月６日(日)②12:00は、特別番組放送のため放送休止となります。
■番組に関する問い合わせ　広報国際交流課　☎38-2006　■CATV全般に関する問い合わせ　J:COMカスタマーセンター　☎0120-999-000(午前９時～午後９時)

阪神南くすの木学級 西宮教室

■日程　10月４日・11月29日(日)<全２回>
■会場　西宮市立中央公民館
■内容　講演・健康体操・絵手紙・料理実習など
■対象　市内在住の義務教育修了年齢以上の聴覚・言語障がいのあるかた・先着10人
■費用　保険料・教材費
■申し込み　９月14日(月)までにファクスか電話で下記へ

問い合わせ
公民館　☎35-0700/FAX31-4998

秋の公民館講座・受講生募集

【阪神間の街かどウオッチング】
■日時　10月２日～11月６日(金)・午前９時～正午ごろ<全５回>　■内容　①奥池周辺の植物ウオッチング②会下山遺跡を文化探訪③甲子園逍遥と文学探訪④あしやの街を歩こう(浜風大橋から総合公園へ)⑤芦屋の文化財探訪(市民センターから阪急芦屋川へ)※希望のコース番号を記入　■定員　各20人　■費用　500円　■申し込み　９月18日までに講座名・住所・氏名・電話番号を記入し、はがきかファクスで下記へ
【日本古代国家誕生の謎を解き明かす－考古学からみた最新倭国形成論】
■日時　10月８日～11月５日(木)・午後１時30分～３時(全４回)　■会場　市民センター401室　■内容＆講師　後漢鏡から卑弥呼の鏡へ(京都大学教授・岡村秀典氏)/イト倭国から新生倭国へ(桜井市纒向学研究センター所長・寺沢薫氏)/いわゆる「河内政権」の成立をめぐって(大阪府立近つ飛鳥博物館長・白石太一郎氏)ほか　■定員　80人　■費用　1,600円　■申し込み　９月25日までに講座名・住所・氏名・電話番号を記入し、はがきかファクスで下記へ
【健康ハイキング講座<中級のかた向け>－紅葉の名所と文化探訪】
■日時　10月６日～12月１日(火)・午前８時30分～午後５時ごろ(全８回)　■内容　健康作りと友だち作りを目指して、「嵐山から松尾寺」「山の辺の道」「紅葉の笈面」「京都永観堂から真如堂」などを、毎回９km 程度歩きます。　■定員　30人　■費用　2,300円(別途要交通費)　■申し込み　９月25日までに講座名・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、はがきかファクスで下記へ

問い合わせ　公民館　☎35-0700/FAX31-4998(〒659-0068 業平町8-24)